

個人投資家様向け 会社説明会



カンダホールディングス株式会社

東京証券取引所市場第二部

証券コード：9059

平成27年7月25日

- 一、 私達は、物流を通じて社会の発展に貢献します。
- 一、 私達は、お客様に満足されるサービスを提供し、
お客様と共に繁栄します。
- 一、 私達は、研究と創造に努め、自己改革に挑戦します。
- 一、 私達は、和の精神を大切にし、
社員の生活向上を目指します。

目次

■ カンダグループの概要

会社概要	1
会社沿革	2
拠点ネットワーク	3

■ 事業の概要

事業概要	4
取扱品目別売上高	5
事業戦略（国内部門）	6
事業戦略（国際部門）	7

■ 業績と株価推移

連結業績推移（売上高）	8
連結業績推移（損益）	9
株価推移	10
株価指標推移	11
配当推移	12

■ トピックス

包括的業務提携	13
障害者雇用支援事業	14
社会貢献事業	15
環境への取り組み	16
安全と品質への取り組み	17



カンダグループの概要

商号	カンダホールディングス株式会社
本店	〒101-0061 東京都千代田区東神田3-1-13
本社事務所	〒115-0051 東京都北区浮間4-22-1 PRO-1浮間5階
創業	昭和18年11月
代表者	代表取締役社長 勝又 一俊
資本金	17億7,278万4千円
事業内容	グループ全体の事業活動を統括・管理する
従業員数	連結：1,839名（平成27年3月末日現在）
グループ会社	23社（平成27年3月末日現在）
上場区分	東京証券取引所市場第二部
証券コード	9059



「日本物流ネットワーク協会」
Japan Logistics Network Association

平成27年：物流4社による包括的業務提携契約を締結し、
「日本物流ネットワーク協会」（「JLNA」）発足
平成26年：「カンダハーティサービス株式会社」を設立
ニュースターライン(株)・ベルトランス(株)をグループ化
平成25年：蓮田・南東北・久喜にて太陽光売電事業開始
海外拠点として「PGEジャカルタ駐在員事務所」を設立
平成24年：「カンダ物流株式会社」発足、北関東5拠点を統合
「株式会社ハーバーマネジメント」（現PGE）、
「株式会社ジェイピーエル」をグループ化
海外拠点として「PGEタイ」・「PGE上海駐在員事務所」を設立

平成23年：国際宅配部門の事業譲受により

「株式会社ペガサスグローバルエクスプレス」業務開始

平成21年：持株会社体制へ移行

商号を「カンダホールディングス株式会社」に変更

平成16年：東京証券取引所市場第二部へ株式上場

平成 6年：日本証券業協会に株式を店頭登録

平成 3年：カンダコーポレーション(株)へ社名変更

昭和38年：出版物共配開始

当社の呼びかけで全国への出版物流を共同配送化し実施

昭和20年代：定期路線網の構築

「神田便」の名称で定期便を運行、路線事業開始

昭和19年：神田運送(株)設立

神田運送株式会社設立 本社：東京都神田区佐久間町 資本金：230万円

昭和18年：発足

自動車交通事業法により東京都神田区内の全運送会社16社が一括統合され発足する

国際物流へ進出

運送業から物流業へ



■ エリア別事業拠点数

東北	3
関東	52
中部	8
関西	7
中国	2
九州	1
海外	3
合計	76

【海外拠点】	
現地法人	
バンコク (タイ)	
駐在員事務所	
上海 (中国)	
ジャカルタ (インドネシア)	



(堺物流センター)

事業の概要

物流センター
(保管型)



物流センター
(通過型)



データ
センター



共同配送



引越し



警備輸送
(集配金)



廃棄物
収集運搬



機密文書
保管



カンダグループでは、

5,000社 にも及ぶ あらゆる業態のお客様に、

多種多様な物流サービスを御提供しております。

介護・介助
輸送



流通加工



WMS



 **カンダグループ**

建築資材
運搬



バイク便



社内メール
サービス



航空宅配



航空輸送



海上輸送



海外赴任
コンシュルジュ



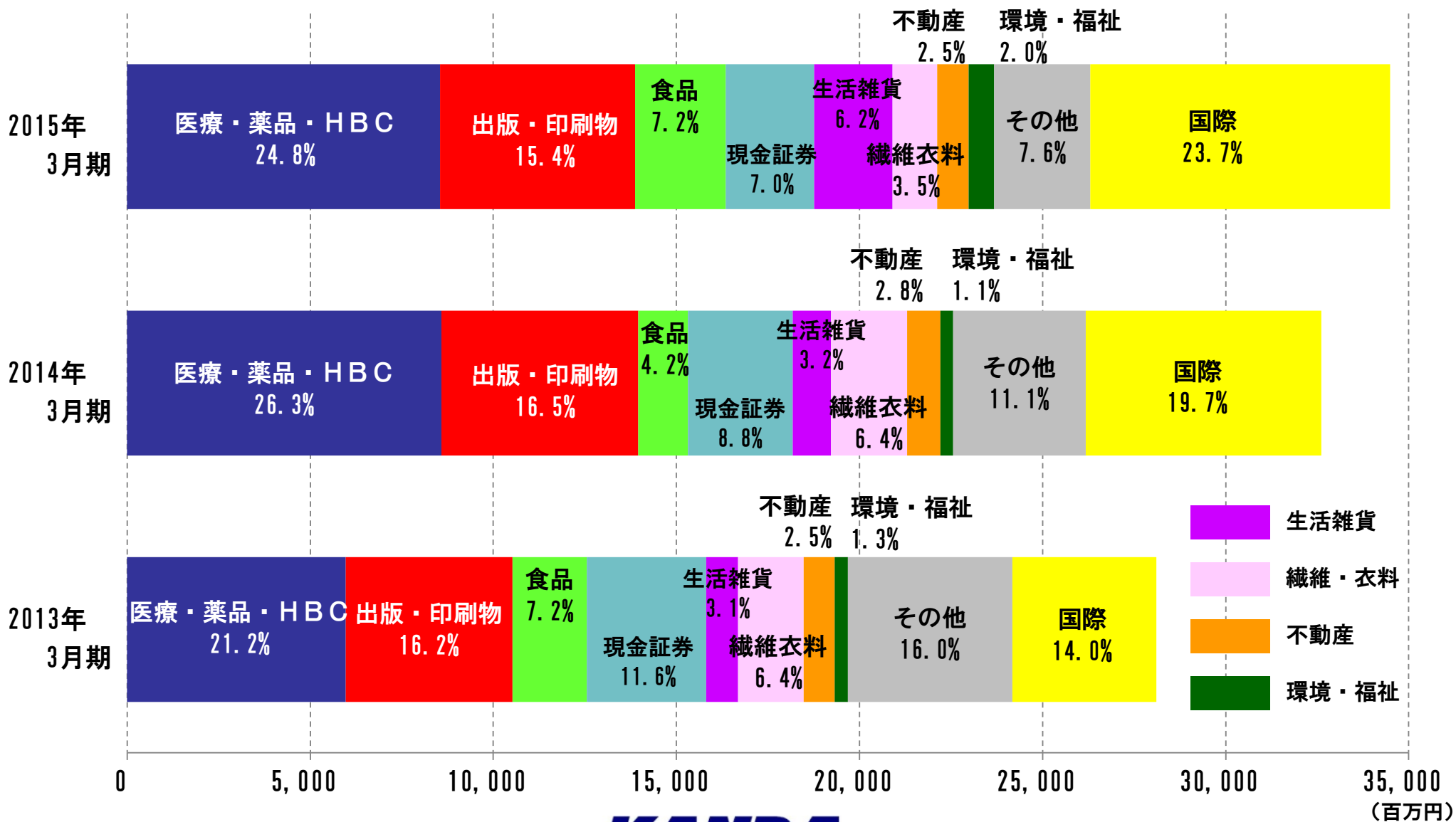
現地法人



化学薬品
輸送



取扱品目別売上高と構成比率



■ 3 P L 事業

対象事業	重点戦略
医薬品	川下・中間流通より川上へ、物流対応領域の拡充と深耕
ドラッグストア	東名阪の既存拠点に加え、他エリアへのサービス展開に向けた全国ネットワークの構築
食品	顧客密着型で培ってきたノウハウを活かした拡販

■ 輸配送事業

対象事業	重点戦略
出版物	共同配送提案による配送エリア・市場占有率の拡大
現金・貴重品	最適釣銭配金システム「CASHNET」による、トータルキャッシュマネジメントの提案推進

■ 国際事業

対象事業	重点戦略
国際宅配便	営業拠点の新設による新規顧客の開拓と収益力強化
フォワーディング	自社保有の海外拠点活用とアライアンスの再構築
海外赴任者向け コンシュルジュ	WEB受注によるサービス拡充と新規顧客の開拓

■ 海外事業

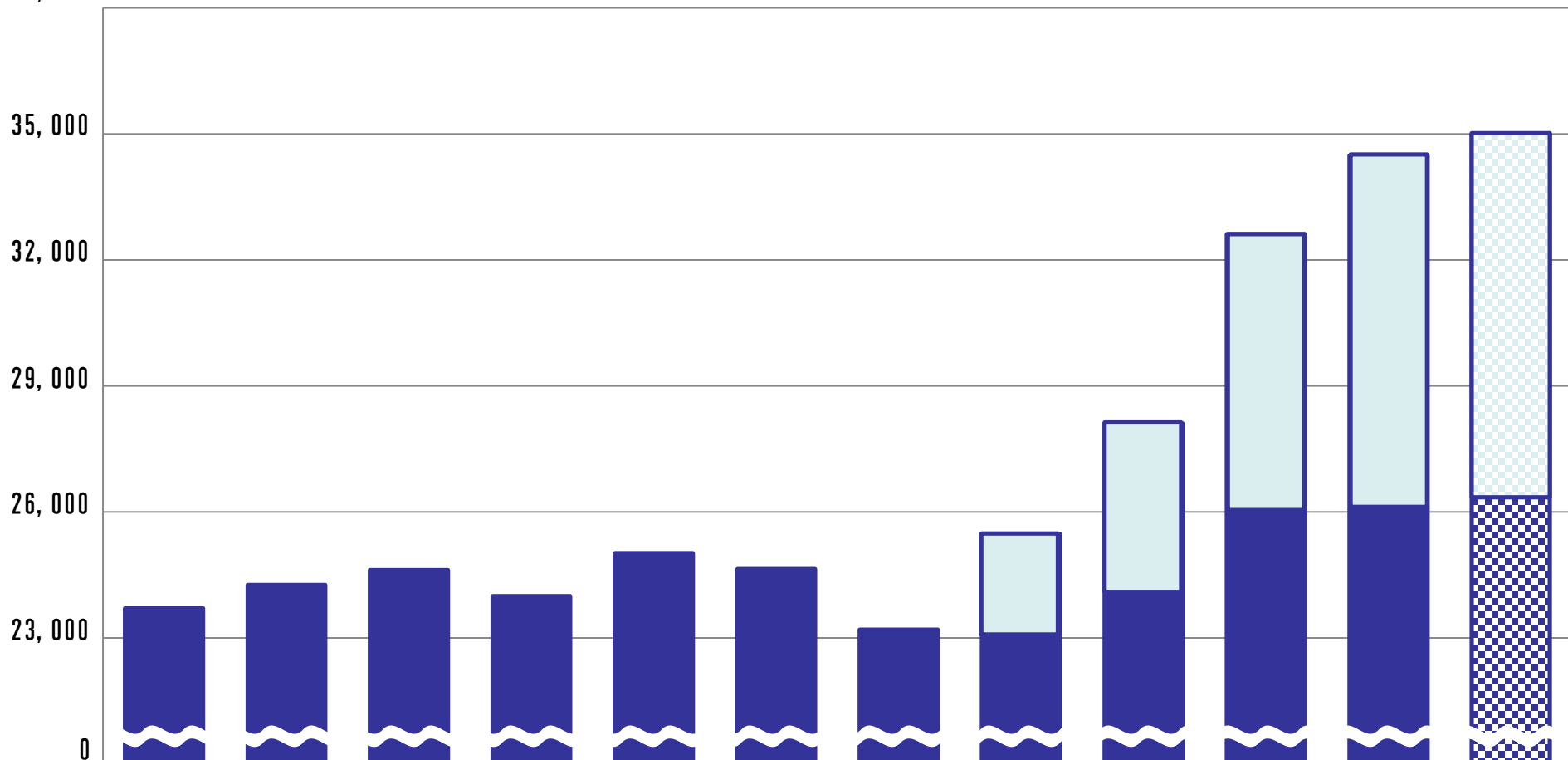
対象事業	重点戦略
既存現地法人 （タイ）	倉庫保管と配送機能の相互活用による収益力強化
現地法人の新設	インドネシアでの現地法人を新設予定

業績と株価推移

■ 売上高推移

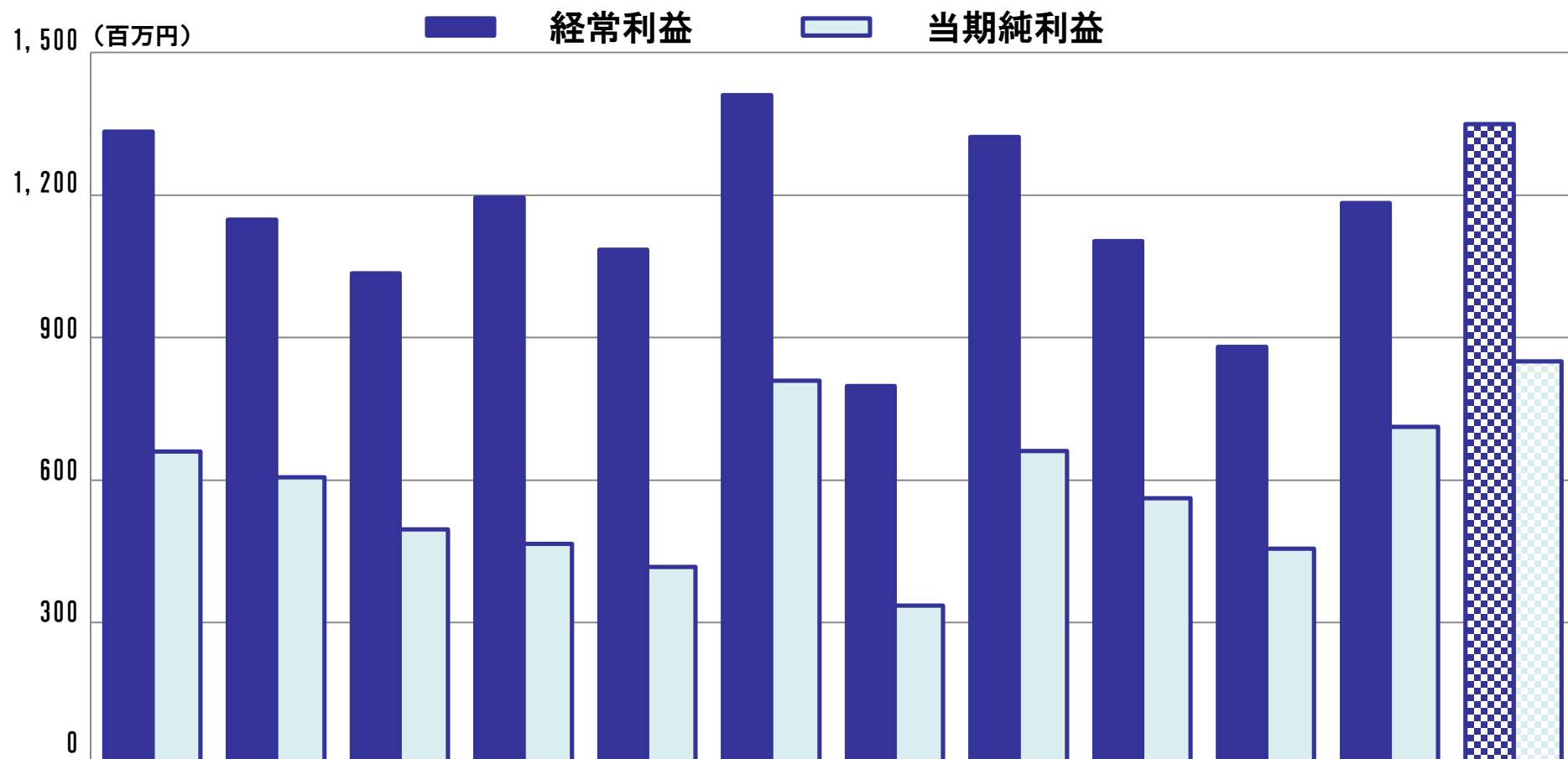
38,000 (百万円)

■ 国内部門 □ 国際部門



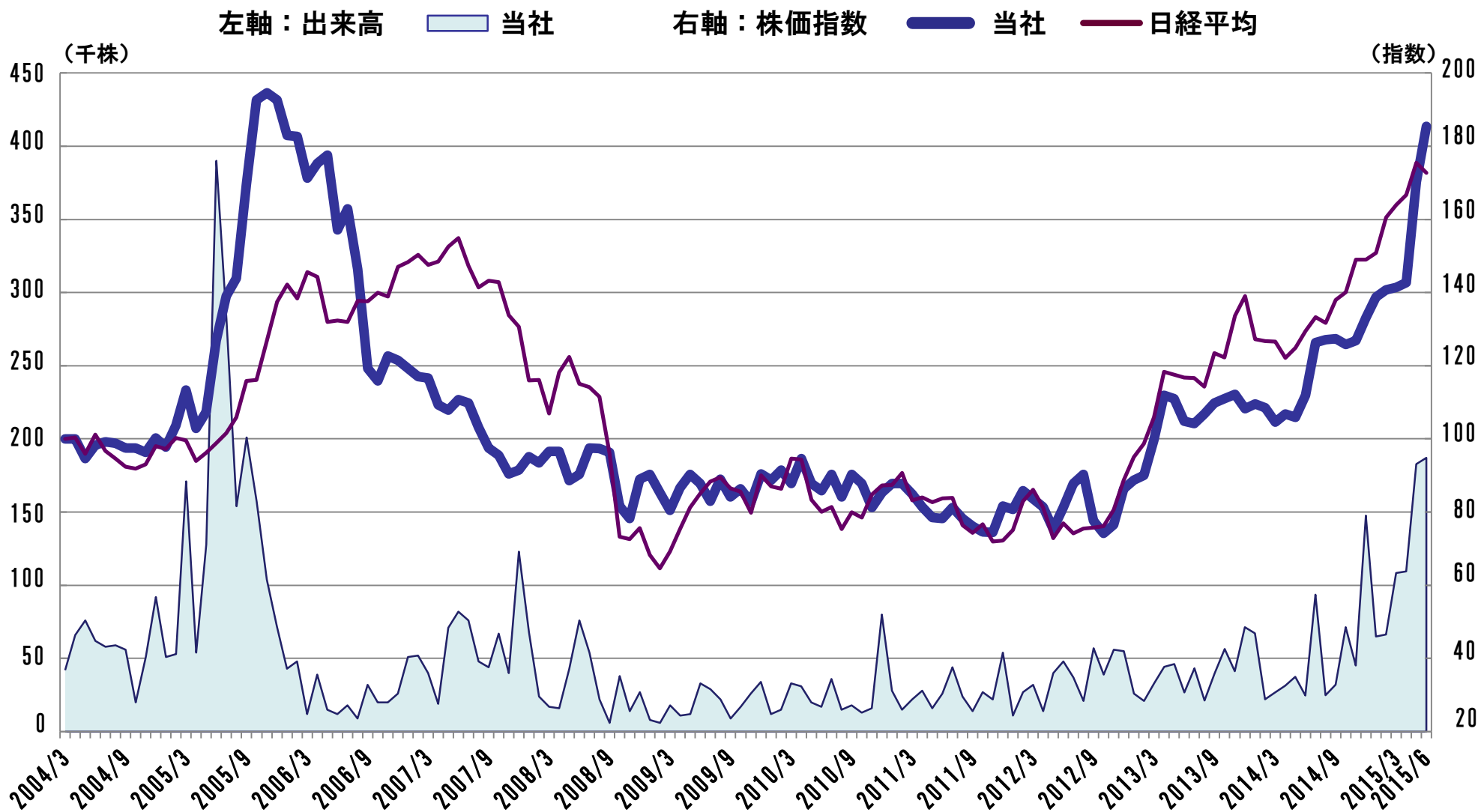
	2005/3	2006/3	2007/3	2008/3	2009/3	2010/3	2011/3	2012/3	2013/3	2014/3	2015/3	2016/3
売上高	23,701	24,265	24,623	23,993	25,019	24,639	23,198	25,483	28,104	32,612	34,490	35,000

■ 損益推移



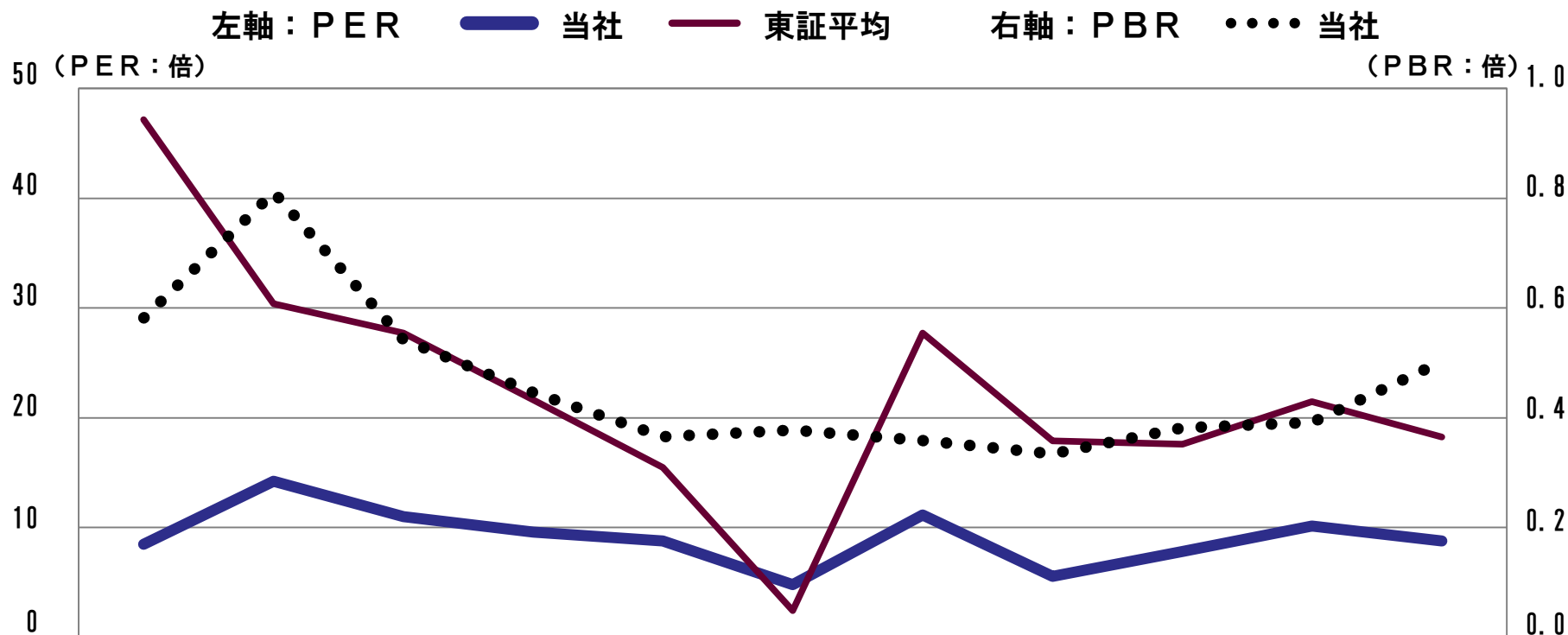
	2005/3	2006/3	2007/3	2008/3	2009/3	2010/3	2011/3	2012/3	2013/3	2014/3	2015/3	2016/3
経常利益	1,334	1,149	1,035	1,195	1,085	1,411	798	1,323	1,103	881	1,184	1,350
当期純利益	660	606	497	466	417	810	336	662	562	456	712	850

■ 出来高・株価推移



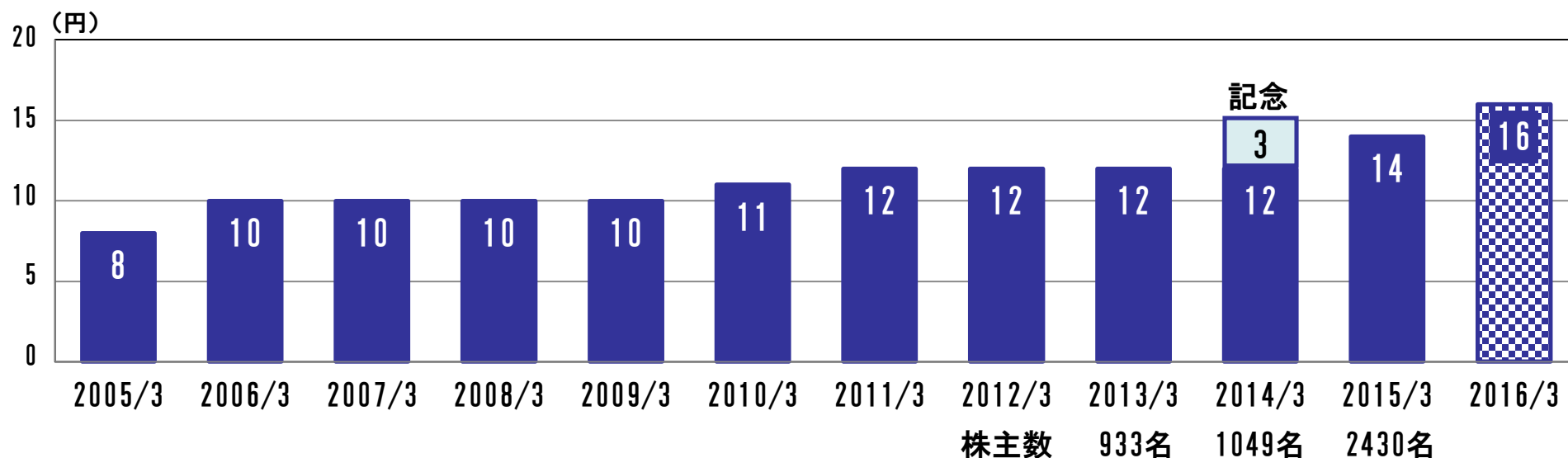
※ 指数は2004年（平成16年）3月度を100として算出しております。

PER・PBR 推移



	2005/3	2006/3	2007/3	2008/3	2009/3	2010/3	2011/3	2012/3	2013/3	2014/3	2015/3
当社 PER	8.50	14.20	11.01	9.60	8.80	4.81	11.14	5.58	7.84	10.12	8.77
東証平均 PER	47.19	30.39	27.74	21.62	15.46	2.44	27.72	17.90	17.62	21.48	18.24
当社 PBR	0.58	0.81	0.54	0.45	0.37	0.38	0.36	0.33	0.38	0.39	0.50

■ 配当金推移



■ 株主優待制度

保有株式数	株主優待	枚数
100株 以上 1,000株 未満	QUOカード 500円	1 枚
1,000株 以上 3,000株 未満	図書カード 1000円	1 枚
3,000株 以上 5,000株 未満	図書カード 1000円	2 枚
5,000株 以上	図書カード 1000円	3 枚

■ 配当利回り

【配当利回り計算】

単元株100株を、株価784円で購入頂くと ...
(2015年7月22日終値)

配当 1,600円、株主優待 500円
実質配当金額は2,100円

配当利回り 2.7%

トピックス

■ 日本物流ネットワーク協力会

JLNA (Japan Logistics Network Association)

平成27年2月16日、カンダホールディングス株式会社、高末株式会社、東部ネットワーク株式会社、株式会社ヒガシトゥエンティワンの4社は、包括的業務提携を締結し「日本物流ネットワーク協力会」（「JLNA」）を発足させました。

物流ニーズの高度化

総合化／広域化／サービスレベル向上

荷主企業

グループ化・大型化

全国化・グローバル化

市場の寡占化

カンダホールディングス
(東京)

高末
(名古屋)

ヒガシ21
(大阪)

東部ネットワーク
(横浜)

輸送モード拡大／物流商品拡充／サービス向上

サービスエリア・
事業領域の拡大

■ 特例子会社（カンダハーティーサービス）

カンダグループでは、障害を持つ方々に安心して就労できる職場環境を確保するため「カンダハーティーサービス株式会社」を設立致しました。

今後、特例子会社の認定申請を行うと共に、より多くの障害者の方に就労頂くべく、グループ内に留まらず業務の拡張を目指しております。

また、職場体験実習も行っており、就労を目指す方の支援を行っております。



■ 無償奉仕活動（ボランティア）

カンダグループでは様々な支援活動を行っています。

毎年、全国の児童養護施設へ児童書など「書籍」の配送を無償で行っております。

また、特定非営利活動法人 I S A P H（アイサップ）が計画・主催する「ラオス母子保健プロジェクト」に協力し寄生虫感染予防の為の「靴」を、ラオスの裸足の子供達へ無償で配送致しました。

（輸送貨物の現地到着時写真）



（感謝状）



特定非営利活動法人 I S A P H（アイサップ）
・International Support and Partnership for Health・

平成 27 年 6 月 24 日

カンダホールディングス株式会社
代表取締役社長 勝又 一俊 様

ラオスプロジェクトへのご支援のお礼とご報告

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素、当法人の事業にご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、この度私共のラオス母子保健プロジェクトに株式会社ムーンスター様からご寄付頂きました靴 100 足は、貴社のご協力により 6 月 18 日に無事 ISAPH ラオス事務所に届きましたことをご報告申し上げます。

靴を詰めた 5 箱の段ボール箱は、6 月 9 日にラオスの首都ビエンチャンの税関より届いたとの連絡を受けました。その引き取りのため、6 月 11 日からラオス事務所職員がビエンチャンに上り、税関での引き出し作業を行い、6 月 12 日には引き取りを完了致しました。その後ラオス保健省、外務省の訪問などの所用を済ませ、6 月 18 日に事務所に移送した次第です。このように迅速に受け取ることができましたのも、ひとえに貴社のご協力の賜物と感謝に堪えません。心からお礼を申し上げます。

私共が活動するラオス中部のカムアン県セバンファイ郡では、乳幼児の腸管寄生虫感染率が 4 割以上あり、健康の阻害要因となっております。特に、土の中で卵か幼虫となり足や手の皮膚から体内に入る鉤虫という寄生虫の感染が多いことから靴の着用を奨励しております。

今回ご寄付頂きました靴は、住民の健康増進のため、私共の保健活動に村の保健ボランティアとして参加している住民の方々、約 80 名に配布し、寄生虫対策のキャンペーンの一環として、ボランティアのお子さん達に履いてもらう計画です。配布は、活動地域の村での保健活動の機会を利用し、靴の配布の意図を十分説明し渡す予定です。現在ラオスは雨季に入り、村への道が非常に悪いため、7 月下旬から 8 月にかけて道の状況を見ながら配布致します。配布完了後にはあらためて写真を付けご報告させていただきます。

今後とも「健康から生まれる笑顔、つながる未来」を目指し、開発途上国の住民の「笑顔」のために努力致しますので、よろしくご支援、ご協力のほどお願い申し上げます。

謹白

特定非営利活動法人 I S A P H
理事長 小早川隆敏



Fukuoka Office: Sugiyama Build.4F, Tanotsu-Higashiku, Fukuokashi, Fukuoka 813-0034
Tokyo Office: Shimbashi OWK Build.3F, 3-5-2 Shimbashi, Minatoku, Tokyo 105-0004
E-mail: jimukyoku@isaph.jp Tel Fukuoka Off. 092(671)8211, Tokyo Off. 03(3593)0188

■ 太陽光発電（再生可能エネルギー）

カンダグループでは、自社保有物流センターの遊休面積である屋上部分にソーラーパネルを設置して、太陽光発電事業を行い、再生エネルギーの推進により、電力不足や地球温暖化の問題に貢献していきたいと考えております。



（久喜物流センター）



（蓮田物流センター）



（南東北物流センター）

※ 発電量：一般家庭約440世帯分

※ 年間CO2削減量：約660トン

施設名称	南東北 物流センター	蓮田 物流センター	久喜 物流センター	合計
設置場所	宮城県名取市	埼玉県蓮田市	埼玉県久喜市	
屋根面積 (㎡)	11,426	8,883	15,708	36,017
月間発電量 (KWh)	61,417	24,942	83,192	169,551

■ 安全への取り組み

- ※ 運行管理者・セーフティーアドバイザーなどへの各種研修会を開催しています。
- ※ 技術教育訓練学校（自社保有）を活用した乗務員への実技指導を実施しています。
- ※ 事故撲滅対策委員会による営業所の巡回と巡察パトロール指導を実施しています。



■ 品質改善活動

カンダグループでは、1995年より「ダッシュ21」と呼ぶQC活動を、全職場・全従業員参加を基本として20年間に渡り継続して実施しています。各職場での成果発表に加え、各職場より選抜されたサークルによる事例発表大会も毎年開催し、相互啓発に寄与しています。今年度は、150超のサークル、従業員1,500名超が、作業品質の改善や生産性の向上などのテーマに沿って、活動に取り組んでいます。



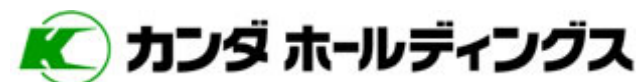
20周年
新たな気持ちでスタートダッシュ!
挑戦はまだまだ続く
第20回
ダッシュ21
7月1日 Kinko開催
【活動重点項目】
①目標は必ず数値化して設定する。
②活動ステップの手順を守る。
③推進担当者・支援者は活動へ関与する。
カンダグループ ダッシュ21中央推進委員会

当資料は、投資判断のご参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資への勧誘を目的としたものではありません。

記載されている内容は、資料作成時点の当社の判断に基づくものであります。

従いまして、将来の計画数値や施策の実現等の記載された内容を確認したり保証するものではなく、実際の業績は当社を取巻く様々なリスク及び不確実性により、これら見通しとは異なる結果をもたらしうることがあることをご承知おきください。

また、本資料に記載されている当社及び当社グループ以外の企業等にかかわる情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性・適切性等について当社はこれを保証するものではありません。



お問い合わせ先：カンダホールディングス株式会社 総務部株式課

電話 03-6327-1811(代) FAX 03-6327-1800

ホームページ： <http://www.kanda-web.co.jp/>

e-mail： hd-soumu@kanda-web.co.jp

